

公益社団法人 日本水産学会  
平成 26 年度第 7 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 27 年 2 月 7 日(土) 12 時 59 分～16 時 16 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス  
2 号館 200A-2 会議室 (東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数  
総数 17 名、定足数 9 名
- 4 出席理事数 17 名  
(本人出席) 吾妻行雄、荒井克俊、荒井修亮、飯田貴次、香川浩彦、金子豊二、  
木島明博、嵯峨直恆、青海忠久、関 伸吾、東海 正、時村宗春、  
古谷 研、松山倫也、山下 洋、渡邊良朗、渡部終五  
(監事出席) 青木一郎、瀬川 進  
(幹事出席) 遠藤英明、田代有里、石田真巳、鈴木美和、塩出大輔、久田孝  
(オブザーバー) 伊藤文成(理事候補者)、大越和加(理事候補者)、佐竹幹雄(理事候補者)
- 5 議 案  
決議事項 第 1 号議案 「増員による平成 27 年度役員(理事)候補者の決定」の件  
第 2 号議案 「平成 27 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事  
項」の件  
第 3 号議案 「平成 27 年度事業計画」の件  
第 4 号議案 「平成 27 年度予算」の件  
第 5 号議案 「平成 27 年度中部支部支部長選出」の件  
第 6 号議案 「平成 26 年度日本水産学会論文賞の決定」の件  
第 7 号議案 「投稿規程の一部改正」の件  
第 8 号議案 「寄附金の使途」の件  
第 9 号議案 「国際研究・交流資金(特定費用準備資金)計画変更」の件  
第 10 号議案 「平成 27 年度各種委員会委員長選出」の件  
第 11 号議案 「平成 27 年度各種委員会委員選出」の件  
第 12 号議案 「創立 85 周年記念事業の各種委員会委員選出」の件  
第 13 号議案 「平成 27 年度秋季大会委託業者」の件  
第 14 号議案 「平成 27 年度秋季大会募金目論見書」の件  
第 15 号議案 「理事会主催シンポジウム開催」の件  
第 16 号議案 「平成 26 年度資格喪失者」の件  
第 17 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 6 回理事会以降の職務執行の状況  
その他

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

渡部会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「増員による平成 27 年度役員(理事)候補者の決定」の件(別紙 1)

東海総務担当理事より、増員による平成 27 年度役員（理事）候補者の決定に関する説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙 1 の通り可決した。

第 2 号議案 「平成 27 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度定時社員総会の日時、場所及び目的である事項について説明があった。

開催日時：平成 27 年 3 月 29 日（土）13 時開始

開催場所：東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区港南）

目的である事項：第 1 号議案 平成 26 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

第 2 号議案 増員による平成 27 年度役員（理事）選任の件

第 3 号議案 名誉会員推薦の件

審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第 3 号議案「平成 27 年度事業計画」の件（別紙 2）

東海総務担当理事より、平成 27 年度事業計画についての原案の説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 4 号議案「平成 27 年度予算」の件（別紙 3）

渡邊財務担当理事より、平成 27 年度予算についての原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

本議案について以下の質疑応答があった。

青木監事 「予算総額が例年よりも増加したことに対し、各委員会等に予算額減額の努力を要請しないのか。」

東海理事 「例えば、託児所はほとんど利用者がいないため決算額が予算額を大幅に下回ることがあるが、学会として準備しておくべき経費は計上している。予算書の内容を会計士に見ていただいたところ、問題ないとの判断であった。」

第 5 号議案「平成 27 年度中部支部支部長選出」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度中部支部支部長選出について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

支部長 皆川 恵

第 6 号議案「平成 26 年度日本水産学会論文賞の決定」の件（別紙 4）

古谷編集担当理事より、平成 26 年度日本水産学会論文賞の原案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 7 号議案「投稿規程の一部改正」の件（別紙 5）

古谷編集担当理事より、投稿規程の一部改正について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

本議案について以下の質疑応答があった。

荒井（克）理事 「この改正案は掲載済みの論文を撤回することは規定していないということか。」

古谷理事 「撤回の告知を掲載することになるだろう。」

東海理事 「科学技術情報流通技術基準に、撤回告知記事を掲載することを規定している。むしろ撤回に至るまでの調査が大変になると予想されるため、申し合わせを検討している。」

金子理事 「投稿原稿は何を指すのか。」

東海理事 「投稿規程において規定している報文を指す。」

渡邊理事 「捏造と偽造の違いは何か。」

東海理事 「捏造とは、行ってもいない調査・実験からデータを得たかのように報告するこ

とであり、偽造とは、調査・実験は行っているもののデータを自分の有利になるように変更していることであり、これらの定義は原稿の書き方に示すことを考えている。」

第 8 号議案「寄附金の使途」の件（別紙 6）

東海総務担当理事より、平成 26 年 12 月 15 日(月)に一般財団法人学術著作権協会より寄附金 24,000 円を受けた報告があった。また、渡邊財務担当理事より、寄附金の使途を公益目的事業 2 に該当する日本水産学会誌印刷費に充てるとの原案が説明された。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 9 号議案「国際研究・交流資金（特定費用準備資金）計画変更」の件

渡邊財務担当理事より、国際研究・交流資金(特定費用準備資金)を創立 85 周年記念国際シンポジウムの準備資金とする計画に変更する旨の原案が説明された。審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第 10 号議案「平成 27 年度各種委員会委員長選出」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度各種委員会委員長選出について説明があった。審議の結果、次の通り出席理事全員一致で可決した。

|             |      |
|-------------|------|
| 編集委員会       | 佐藤秀一 |
| 企画広報委員会     | 浅川修一 |
| 水産教育推進委員会   | 小島隆人 |
| シンポジウム企画委員会 | 高木 力 |
| 国際交流委員会     | 佐藤秀一 |
| 水産政策委員会     | 八木信行 |

第 11 号議案「平成 27 年度各種委員会委員選出」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度各種委員会委員選出についての原案が説明された。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 12 号議案「創立 85 周年記念事業の各種委員会委員選出」の件

渡部会長より、創立 85 周年記念事業の各種委員会委員選出についての原案が説明された。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 13 号議案「平成 27 年度秋季大会委託業者」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度秋季大会運営委託業者について、2 社の見積もりを検討した結果、トーヨー企画(株)に決定したいとの説明があった。審議の結果、出席理事全員一致でこれを可決した。

第 14 号議案「平成 27 年度秋季大会募金目論見書」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度秋季大会募金目論見書の案をもとに、平成 27 年度日本水産学会秋季大会実行委員会において平成 27 年 5 月 20 日から平成 27 年 8 月 31 日までの間、寄附(協賛)金の募集を行う旨の原案が説明された。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第 15 号議案「理事会主催シンポジウム開催」の件

木島理事より、日本水産学会理事会主催特別シンポジウムの企画原案タイトル「東北の海は今、震災後 4 年間の研究成果と漁業復興(仮称)」と開催日(平成 27 年度秋季大会前日)についての原案が説明された。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第 16 号議案「平成 26 年度資格喪失者」の件

東海総務担当理事より、平成 26 年度資格喪失者の案として対象者となる会員氏名リストが示され、2 月末までに滞納会費が支払われることでリストから名前が除かれるという説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第 17 号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

(報告事項)

第6回理事会以降の職務執行の状況

・庶務関係

東海担当理事より次の報告があった。

1) 共催及び協賛の件(共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ3)を適用)

第17回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会

協賛 日本化学会 他26学協会

日程 平成27年5月30日(土)・31日(日)

場所 東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)

希望 協賛

負担金 なし

食品ハイドロコロイドセミナー2015

主催 食品ハイドロコロイド研究会

共催 京都大学化学研究所 共同利用・共同研究拠点

協賛 化学工学会 他25学協会

日程 平成27年5月21日(木)

場所 京都大学化学研究所 共同研究棟大セミナー室(京都府宇治市)

希望 協賛

負担金 なし

第26回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会

共催 京都大学化学研究所 共同利用・共同研究拠点

協賛 化学工学会 他25学協会

日程 平成27年5月22日(金)

場所 京都大学化学研究所 共同研究棟大セミナー室

希望 協賛

負担金 なし

2) 会員名簿の改訂について

会員名簿の改訂作業について寄せられた意見から、各会員が会員データベースにアクセスして個人情報を変更できるようなシステムの利用の可能性を検討している。

・企画広報関係

金子担当理事より、平成27年1月14日(水)に企画広報委員会が開催されたことが報告された。

・財務関係

渡邊担当理事 特になし

・編集関係

古谷担当理事より、次の報告があった。

1) 日本水産学会誌の校正作業がPDF化されたことから、今後は幹事・校正係に海洋大と海洋大以外所属の会員に依頼することとした。

2) 掲載報文の学位論文への転載許可(リポジトリへの登載を含む)に対する方針を決定した。

3) 日本水産学会誌のオンライン早期公開を82巻1号から行う予定で準備している。

4) 学会ホームページ英語版を準備中である。

・学会賞関係

荒井(克)担当理事より、渡部終五会長の日本農学賞受賞決定の報告があった。

・シンポジウム関係

松山担当理事より、平成 27 年度春季大会においてシンポジウム 2 件、ミニシンポジウム 2 件が開催予定であること、また平成 27 年度秋季大会シンポジウムでは 1 件の企画案があるとの報告があった。

・出版関係

木島担当理事より、平成 27 年 1 月 7 日(水)に開催された出版委員会について次の報告があった。

- 1) 水産学シリーズ 182 号の刊行の準備が進行中である。
- 2) 「魚介類内在性プロテアーゼ 基礎から水産食品加工への応用まで」(平成 28 年 3 月刊行予定)が水産学シリーズに採択された。もう一件の企画は不採択となった。
- 3) 秋季大会開催のシンポジウムの企画を水産学シリーズの最終号とするか、あるいは創立 85 周年記念シンポジウム開催時に出版されるものを最終号にするかについて継続審議中である。
- 4) 新委員の推薦があり承認された。
- 5) 創立 85 周年記念事業として発行される水産学用語辞典の編集に協力する。
- 6) 水産学シリーズの終了後について検討するために、出版社が学会員に対しアンケートを実施したい。

・水産技術誌監修関係

時村担当理事より、平成 27 年 1 月 8 日(木)に開催された水産技術誌監修委員会について次の報告があった。

- 1) 第 7 巻 2 号の掲載論文が審議された。
- 2) 第 7 巻 2 号は平成 27 年 3 月刊行予定である。
- 3) 投稿要領改訂の説明があった。
- 4) 文献リストの書き方について意見交換があり、次回の委員会において検討することとした。

・ベルソープックス関係

松山担当理事より、平成 27 年 1 月 14 日(水)にベルソープックス委員会が開催された報告があった。続いて金子理事より出版委員会に引き継ぐにあたっての今後の方針について次の報告があった。

- 1) 水産学会の役割を監修から出版協力に変更する。
- 2) 出版契約書に代わるものとなる覚書の内容は、次回の理事会において審議される予定である。
- 3) ベルソープックスの出版要項、企画募集案等の具体的な事項については、出版委員会に引き継ぐための準備を行っている。

・国際交流関係

青海担当理事 特になし

・水産教育関係

荒井(克)担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年 3 月 31 日(火)開催予定のミニシンポジウム「初等中等教育における水産を考える」を準備中である。
- 2) 教育関係の国際学会において発表予定で準備中である。
- 3) 平成 27 年度の委員を決定した。

・水産政策関係

山下担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年 3 月 31 日(火)にミニシンポジウム「調査捕鯨と国際司法裁判所(ICJ)判決」を開催予定である。
- 2) 平成 27 年度の委員長ならびに副委員長を決定した。

・漁業・資源管理関係

渡邊担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年 3 月 27 日(金)に講演会「沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究」の開催を予定している。
- 2) 平成 27 年度秋季大会期間中に講演会の開催を予定している。
- 3) 平成 27 年度の委員長、副委員長を決定した。

・水産利用関係

渡部担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年 2 月 3 日(火)に水産利用懇話会委員会を開催した。
- 2) 同日委員会終了後に講演会「国内の水産資源を持続的に利用するための打ち手」を開催した。参加者は 39 名であった。

・水産増殖関係

木島担当理事より、平成 27 年度春季大会期間中に講演会「最新の技術を利用した水産育種」を開催予定であることの報告があった。

・水圏環境関係

山下担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年度の委員長ならびに副委員長を決定した。
- 2) 平成 27 年 2 月 7 日(土)に沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイント・シンポジウム「沿岸環境科学と社会の接点をめぐって - 海洋保護区の展開・漁村の震災復興」を開催した。
- 3) 平成 27 年 3 月 27 日(金)にシンポジウム「炭素・窒素同位体比でひも解く水産生物をとりまく環境の複雑さ」を開催予定である。

・社会連携関係

嵯峨担当理事 特になし

・将来計画関係

古谷担当理事より、創立 85 周年記念事業の準備活動を進めているとの報告があった。

・男女共同参画関係

金子担当理事より、平成 27 年度春季大会の際に、男女共同参画についての大型アンケートを要約したものをクリアファイルにプリントして配布するための準備を進めている。

・北海道支部

嵯峨担当理事 特になし

・東北支部

吾妻担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年 2 月 6 日(金)に支部例会ミニシンポジウム「若手研究者によるトークセッション」を開催した。
- 2) 東北支部大会の一般発表における優秀発表者 2 名に支部長賞を授与した。
- 3) 平成 27 年度秋季大会の準備状況については、同時期に同会場で開催される遺伝学会との間で、展示パネルの手配、清掃業者との交渉、立て看板の準備、バスの手配、託児所の開設等を共同運営することで話を進めている。

・関東支部

時村担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 27 年度春季大会準備状況
  - a) 講演申込数 851 件(口頭発表 614 件、ポスター発表 237 件)、高校生による研究発表申し込み数 53 件。
  - b) 会期中の各種委員会、シンポジウム、ミニシンポジウム、学会賞受賞者講演等については、学会事務局からの情報をもとに会場設営の手配中である。

- c) プログラム編成作業中である。
- 2) 平成 28 年度春季大会については、水産総合研究センター中央水産研究所が主催となり、日本大学生物資源学部の協力で平成 28 年 3 月 26 日(土)～30 日(水)か 27 日(日)～31 日(木)を開催期間とし、東京海洋大学を会場に開催する計画を立てている。大会委員長には次期の中央水産研究所所長を予定している。日程及び会場の決定については、次回理事会において審議される予定である。
- 3) 平成 27 年度事業計画についての経過
  - a) 都県の水産研究機関の研究ニーズに対応したシンポジウム等の開催については、「キンメダイ」をテーマにして次年度 10 月頃を目処に開催する予定である。正式には次年度の支部幹事会で決定する予定である。
  - b) 平成 27 年度春季大会における水産学若手の会(特別委員会)主催イベント「展示参加企業によるプレゼンテーション」への対応として、若手の会の担当者から開催日時、会場等の準備状況について報告を受けた。
- ・中部支部
  - 飯田担当理事より、平成 27 年度の支部長を選出したとの報告があった。
- ・近畿支部
  - 荒井(修)担当理事 特になし
- ・中国・四国支部
  - 関担当理事より、平成 26 年 11 月 29 日(土)・30 日(日)に支部例会を開催し、参加者は一般研究発表 70 名弱、シンポジウム 50 名程度、高校生によるポスター発表 3 題であったとの報告があった。
- ・九州支部
  - 香川担当理事より、平成 27 年 1 月 10 日(土)に支部幹事会、総会、大会、高校生による発表を行い、一般演題 14 題、高校生による演題 3 題、参加者 60 名程度で、一般講演の若手発表 2 件、高校生による発表 1 件を表章したとの報告があった。
- ・英文書籍監修委員会(特別委員会)
  - 東海総務担当理事より、ひとつの企画については、あと一編の原稿が集まり次第、査読を進めて来年度中に刊行したいとの報告があった。
- ・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)
  - 渡部会長より、次の報告があった。
- 1) 平成 27 年度秋季大会に合わせて開催する理事会主催シンポジウムについては、本委員会も主体的に活動する方向で検討している。
- 2) 平成 27 年度春季大会期間中に委員会を開催する予定である。
- ・水産学若手の会(特別委員会)
  - 渡部会長より、次の報告があった。
- 1) 平成 27 年度春季大会において、各種の企画を準備している。
- 2) 平成 27 年度春季大会においてミニシンポジウム「若手が拓く水産学研究:国際舞台で活躍する若手研究者たち」を開催予定である。
- 3) 委員に女性会員などが数名増えた。
- ・日本水産学会 85 周年記念事業委員会(特別委員会)
  - 渡部会長より、平成 27 年 2 月 7 日(土)午前中に委員会を開催し、その後で国際シンポジウム実行委員会を開催したとの報告があった。
- ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係
  - 東海総務担当理事 特になし
- ・日本農学会関係
  - 東海総務担当理事より、平成 27 年 1 月 23 日(金)に開催された評議員会について次の報告があ

った。

- 1) 日本農学賞の選考があった。
- 2) (公社)日本木材学会が日本農学会を退会した。

その他

- ・学会賞受賞者講演の座長と会場係について  
東海総務担当理事より、学会賞受賞者講演の座長と会場係について説明があり、担当を確認した。
- ・次回理事会の開催について  
東海総務担当理事より、次回平成 27 年度第 1 回理事会は平成 26 年 3 月 7 日（土）14 時 30 分から、国立大学法人東京海洋大学で開催する予定である旨確認があった。
- ・支部の事業報告と決算報告の提出日程について  
東海総務担当理事より、預金残高証明の取得、事業報告、決算報告の提出日程について説明があり、日程に沿って各支部、懇話会及び委員会は対応してもらいたいとの依頼があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16 時 16 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成 27 年 2 月 7 日  
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監 事

監 事